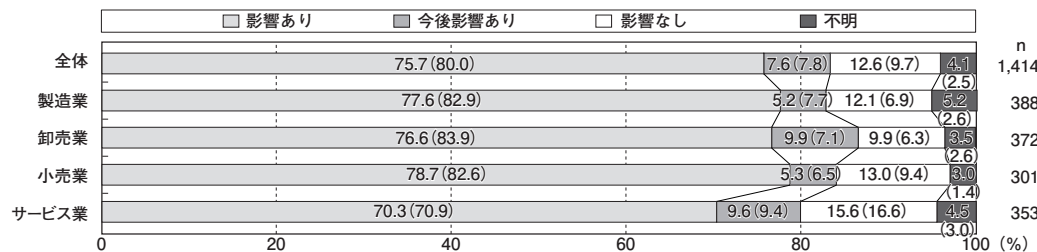


# 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう事業活動等への影響（令和2年11月調査）

## 1. 経営や事業活動への影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう2020年10月の経営や事業活動への影響を全体でみると、「影響あり」が75.7%（前回調査80.0%）と最も高い。

図表9 経営や事業活動への影響

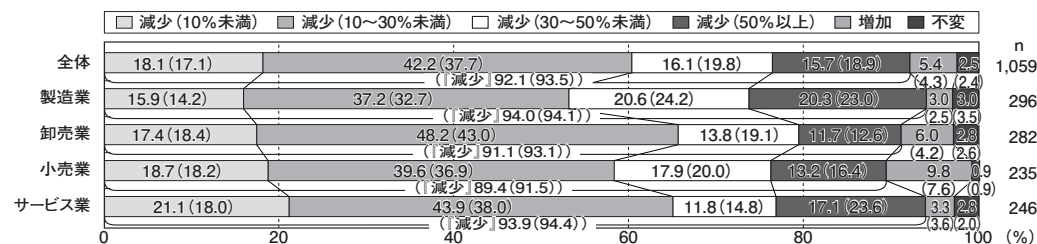


注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和2年10月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. 売上高への影響

2019年10月と比較した2020年10月の売上高を全体でみると、『減少』が92.1%（前回調査93.5%）を占めた。『減少』の内訳は、「減少（10～30%未満）」が42.2%（同37.7%）と最も高く、「減少（10%未満）」が18.1%（同17.1%）の順で続いた。

図表10 売上高への影響



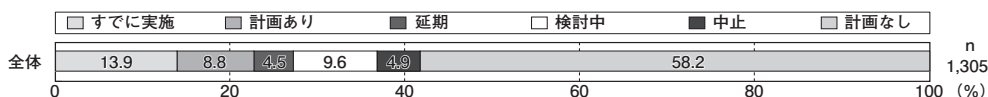
注）経営や事業活動への影響（図表9）で「影響あり」とした企業のうち無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和2年10月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 3. 2020年度の設備投資の状況

### (1) 設備投資の状況

2020年度の設備投資の状況を全体でみると、「すでに実施」が13.9%、「検討中」が9.6%、「計画あり」が8.8%の順で続いた。

図表11 設備投資の状況

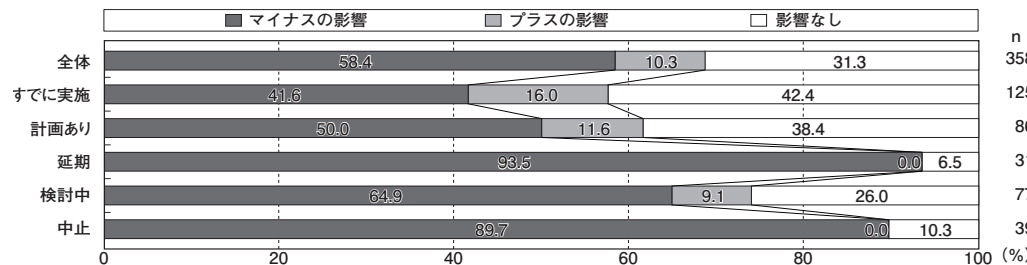


注）無回答を除き集計。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (2) 新型コロナウイルス感染症が設備投資に与えた影響

新型コロナウイルス感染症が設備投資に与えた「マイナスの影響」をみると、「延期」が93.5%と最も高く、次いで「中止」が89.7%であった。

図表12 設備投資に与えた影響



注）設備投資の状況（図表11）で「すでに実施」、「計画あり」、「延期」、「検討中」、「中止」と回答した企業のうち無回答を除き集計。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (3) 設備投資の目的

設備投資を「延期」と回答した企業の設備投資の目的は「設備の代替」が48.0%と最も高い。また、「検討中」及び「中止」と回答した企業は「維持・補修」が最も高く、それぞれ42.0%と41.7%であった。

図表13 設備投資の目的

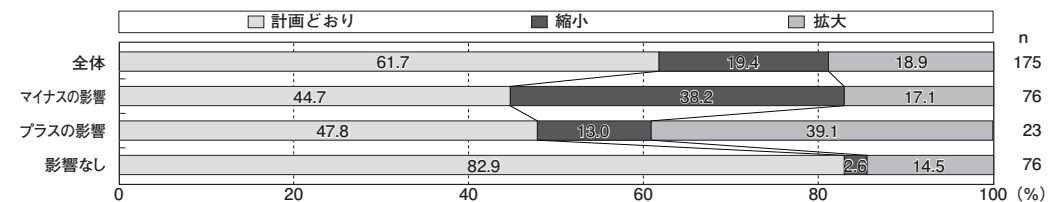
	設備の代替	維持・補修	生産力・販売力の増強	省力化・合理化	製品・サービスの質的向上	新製品・新サービスの提供	新事業への進出	情報化への対応	感染症予防・対策	その他	n
全体	38.3	34.7	22.2	18.8	16.7	12.2	8.2	13.4	16.1	3.6	329
すでに実施	37.6	35.0	22.2	14.5	13.7	14.5	9.4	11.1	22.2	7.7	117
計画あり	42.7	25.6	28.0	30.5	19.5	13.4	11.0	17.1	18.3	2.4	82
延期	48.0	32.0	16.0	8.0	12.0	8.0	16.0	12.0	0.0	0.0	25
検討中	34.8	42.0	15.9	18.8	20.3	7.2	4.3	11.6	13.0	0.0	69
中止	30.6	41.7	25.0	13.9	16.7	13.9	0.0	16.7	8.3	2.8	36

注）設備投資の状況（図表11）で「すでに実施」、「計画あり」、「延期」、「検討中」、「中止」と回答した企業のうち無回答を除き集計。複数回答。

### (4) 設備投資の規模

当初計画と比べた設備投資の規模を設備投資に与えた影響別にみると、「マイナスの影響」を受けた企業は「縮小」が38.2%、「プラスの影響」を受けた企業では「拡大」が39.1%となった。

図表14 当初計画と比べた設備投資の規模



注）設備投資の状況（図表11）で「すでに実施」、「計画あり」と回答した企業を集計（ただし設備投資に与えた影響（図表12）が無回答の企業を除く）。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。